

2023年5月9日

各位

日本光機工業株式会社
株式会社アイセス
株式会社北都銀行

洋上風力発電関連製品の製造に向けた連携について

日本光機工業株式会社(神奈川県横浜市、代表取締役 石崎 康充、以下、「日本光機」と)、株式会社アイセス(秋田県南秋田郡井川町、代表取締役 齊藤 徹、以下、「アイセス」)は、株式会社北都銀行(秋田県秋田市、頭取 伊藤 新、以下、「北都銀行」)のビジネスマッチングにより、航空障害灯の製造について連携することといたしました。

両社は、本格化する洋上風力発電事業に航空障害灯[※]の分野で参入することを目指し、互いの強みを生かしながら秋田を起点としたサプライチェーン構築するために連携を開始しました。既に、設計段階が終了し、試作品製造の段階に進んでいます。

この連携が、秋田県の産業のすそ野が拡大する端緒となり、洋上風力の産業集積を目指す秋田県にとって意義深いものとなることも目指しております。

[※]航空障害灯は、航空機の航行の安全を確保するため、地表又は水面から60m以上の高さの物件に設置することが航空法にて義務付けられており、風力発電所においても設置が必要となります。

- ・日本光機は、創業100余年を有する特殊照明(航空障害灯など)分野のトップメーカーです。本連携にあたっては、これまでの自社製品の小型・軽量化(陸上・洋上風力用の共通化)も視野に入れていきます。
- ・また、アイセスは、秋田県内において電子部品の製造・設計のトップレベルの技術を有し、地域での再エネ活用にも幅広い知見を併せ持つ地元企業です。本連携により、秋田県内の風力発電設備に限らず、日本光機が設置する日本全国の風力発電設備においても、アイセスとの連携による航空障害灯が設置されることを展望しております。
- ・両社のマッチングを支援した北都銀行は、新しい産業である洋上風力発電の産業集積を秋田県に創出することを戦略の柱の一つに据え、各分野・業種のトップ企業と様々な地元企業のビジネスマッチングを積極的に推進しているところです。

[ご参考]秋田県は、風力発電の累積導入量で国内2位(2022年末時点 73万kW[※])の風況に優れた地域であります。また2026年以降に開始する、秋田沖4海域での洋上風力発電事業の開発(合計導入量:約200万kW)に向けた地域のサプライチェーン構築を目指して官民一体での取り組みが行われております。

[※]一般社団法人日本風力発電協会 日本の風力発電導入量(2022年12月末時点)

お問い合わせ先
日本光機
TEL:045-350-7231
アイセス
TEL:018-874-3252
北都銀行 地方創生室
TEL:018-837-1701

以上